

第3回 原田小学校跡地利活用検討委員会

日 時	令和8年2月26日（水）午後7時00分～午後9時00分
場 所	原田地域生涯学習センター

次第

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 開会・あいさつ | 4 プレサウンディング調査等の結果報告 |
| 2 廃校活用事例視察内容の共有 | 5 ワークショップ |
| 3 廃校活用事例視察の感想共有 | テーマ：跡地活用の主体・用途について |
| | 6 グループごとの結果発表・方針の決定 |
| | 7 閉会 |

■記録

第3回委員会はワークショップ形式で行いました。次第のうち、参加者が意見交換した箇所と質疑応答の内容を記録として整理します。

次第3 廃校活用事例視察の感想共有

< 経営の展開や安定感 >

- ・稼げているか、長期的に運営を継続していけるかということに着目して視察に参加した。多角的に事業を展開していても経営の安定には必ずしもつながらないということや、世の中のトレンドに左右されやすい施設は、新たな事業展開等で利用者呼び込まなければならないという危機感等があるとも実際に伺うことができた。
- ・「儲かる」という期待感がなければ民間事業者は参加してくれない。

< 跡地利活用と地域のつながり >

- ・地域に訪れる人が増えて、新たな交流が生まれている話を聞いた。大きな利益が生まれているわけではないが、「地域が変わった」という感覚がある意味の成功だと感じた。稼げるかどうかという視点だけではなく、「地域全体が盛り上がっている」という点も重要だと感じた。
- ・地域との距離感も施設の用途によってさまざまであった。地域との関わりにより、アットホームな雰囲気が生まれている施設の良さを感じることができた。

< 跡地利活用を牽引する人材 >

- ・「小学校跡地を残したい」という気持ちが活動の原点だと感じる事例があった。活動主体となる人材のパワーを感じ、自分たちの地域にもそういった人材がいると良いと感じた。
- ・どの事例でもリーダーシップを執っている人材がおり、意志がないと運営もうまくいかないものだと感じた。代表として引っ張る立場にいる方が一生懸命取り組んでいた。
- ・地域の若者たちがどうしていききたいかということも重要である。

< 市のサポート体制 >

- ・市のサポート体制がしっかりしていた事例があった。原田小学校においても、地元と民間事業者の橋渡し役として、市にサポートしてほしいと思った。

< その他 >

- ・「整備にかけた費用」がその施設の充実感と比例していると感じた。
- ・近隣市町と同じことをしても仕方がないため、真似をするのではなく、地域にあった方法をじっくり検討したい。

次第4 プレサウンディング調査等の結果報告

A 委員（代）	： 事業者から提案のあった「医療施設」とは、どういうものを指しているのでしょうか。老人ホームなども含まれますか。
事務局	： 病院や医院など、診察や医療行為をする施設です。
B 委員	： 調査の結果、参加意向は3者が「難しい」を選択していますが、どの程度「難しい」のでしょうか。
事務局	： これから探っていきますが、回答であげられている懸念点への答えを示すことができれば、参加していただきやすくなると思われれます。

次第5 ワークショップ

Aグループ

■テーマ1 活用する主体について

活用主体	意見
民間事業者	○若い世代に負担を残さないという点で、良い選択である ○新しい場が生まれることで、地域活性化のきっかけができる（人が増える。地域で活用したいという気持ちよりも、活性化に対する期待の方が大きい）
民間+地元	△地元で使いたいところもあるが、「地元と一緒に」となると、民間事業者の参入ハードルが上がってしまうと懸念している（原田フェスの開催場所や避難所機能は、新しい小中一貫校に移すということも考えられないか？） △2者が活用することで、使い方が中途半端になってしまう恐れがある △どのような企業が参入するかにも左右されるが、地元と組んでくれるような協力的な企業があればいい
地元	×人材や維持管理費用を考えると、地元だけで活用するという事は難しい。負担が増えて、逆に地域の衰退につながってしまう恐れがある



結論 民間事業者に活用してほしい。
民間事業者が参入することで、将来世代にとってプラスになってくれると期待している。

■テーマ2 跡地活用の用途について

用途	意見
宿泊（+スパ）	・定期的に人を呼び込むことができる（1回きりではなくリピーターとして来てもらう。日帰り等で気軽に寄れる仕組みもあると良い） ・原田地区の良いところを活かした施設だとより良い ・周辺に競合が多そう

用途	意見
一 次 産 業 (陸上養殖・農業)	<ul style="list-style-type: none"> < 陸上養殖 > <ul style="list-style-type: none"> ・環境に依存せず、学校跡地でも可能である ・食育の場や水族館等として、子どもが遊びに来ることもできる < 農業 > <ul style="list-style-type: none"> ・原田地区にある民間企業の参入が期待できる ・農業がさかんな地域の特性を活かせる
子ども向け施設	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に子どもの遊び場が少ないため、課題解決につながる（+地域外からも人を呼び込める） ・ただ「子どもが遊ぶものがある」だけでなく、「連れてきた保護者が過ごす場所」も併設されていると良い
ス ポ ー ツ	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドをゴルフの練習所に、校舎を別の用途として活用する ・自転車活用の場合
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性を生かして、地域全体の魅力を高めてくれると良い

Bグループ

■テーマ1 活用する主体について

活用主体	意見
民間事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・「民間+地元」での活用を模索したあとに、第2ステップとして民間主体での活用を模索したい
民間+地元	<ul style="list-style-type: none"> ・主体は民間で、地元が協力する（地元が協力してくれる民間だと良い） ・地域の施設として、民間+地元で活用できると良い ・維持管理の区分を考える必要がある
地 元	<ul style="list-style-type: none"> ・地元主体は難しい ・学習センターのみ地元で管理する ・原田フェス等で地元が使えるように



結論 まずは「民間+地元」での活用を模索する。

⇒難しかった場合に、第2ステップとして民間事業者主体での活用を模索する。

■テーマ2 跡地活用の用途について

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場 ・スポーツ（地域のクラブの場、クラブチームの練習場所、トレッキングマウンテンバイクの拠点） 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化利用 ・趣味活動（料理） ・農業発展のために活用
---	---

まとめ

■テーマ1 活用する主体について

- ・2グループとも、「民間事業者に参入してほしい」という点は共通していたが、Aグループでは、「まずは民間事業者メインで活用してほしい。そのうえで、もし民間事業者が可能というのであれば地元で使えるところがあればいい」、Bグループでは、「まずは、民間事業者+地元という活用体制を検討したい。その体制が難しそうだという場合は、民間事業者だけで活用してもらおう方向に切り替える」という意見がでていた。

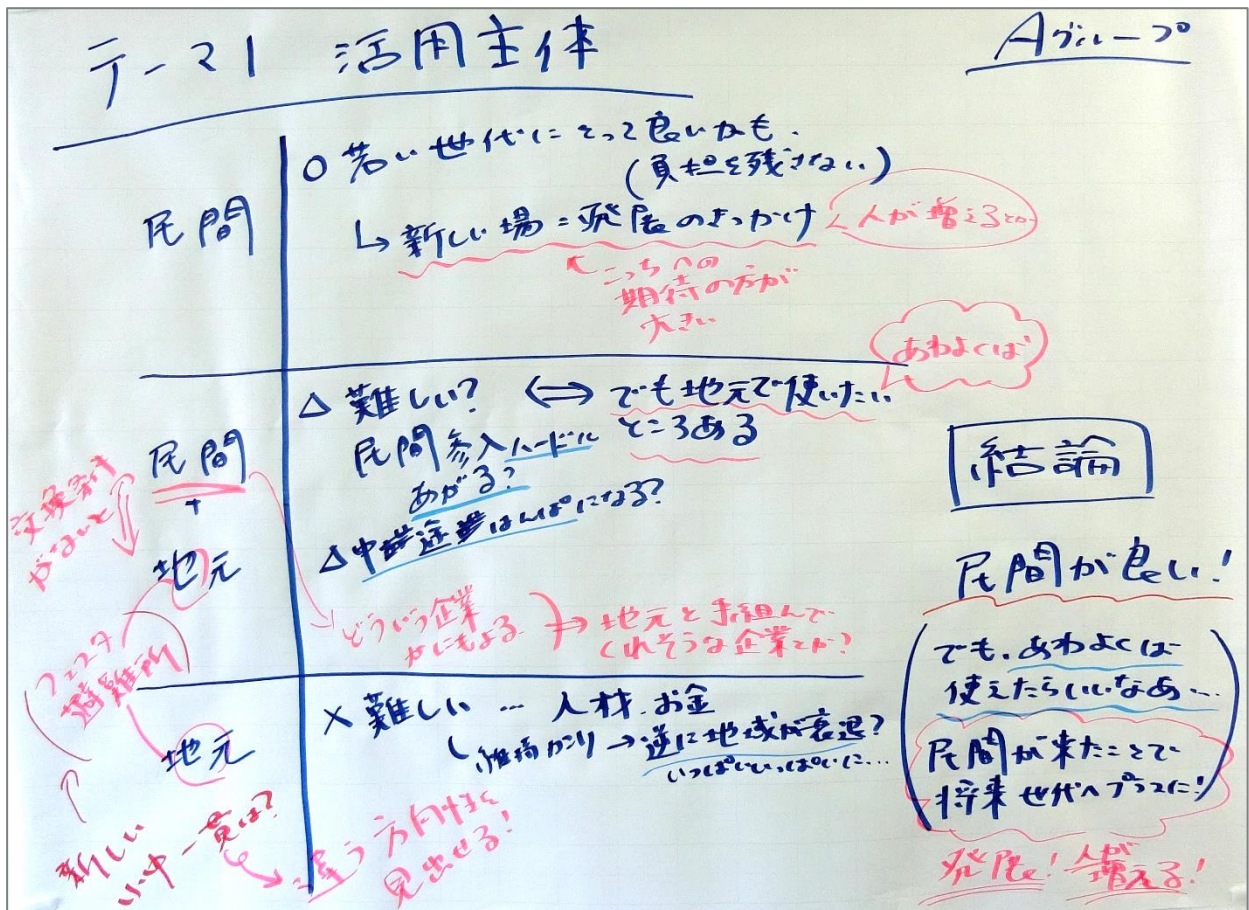
➡ まずは、**民間事業者+地元**という体制での活用方法を検討する。
 その体制での活用が難しいとなった場合は、**民間事業者だけで活用**してもらおうことを検討する。

■テーマ2 跡地活用の用途について

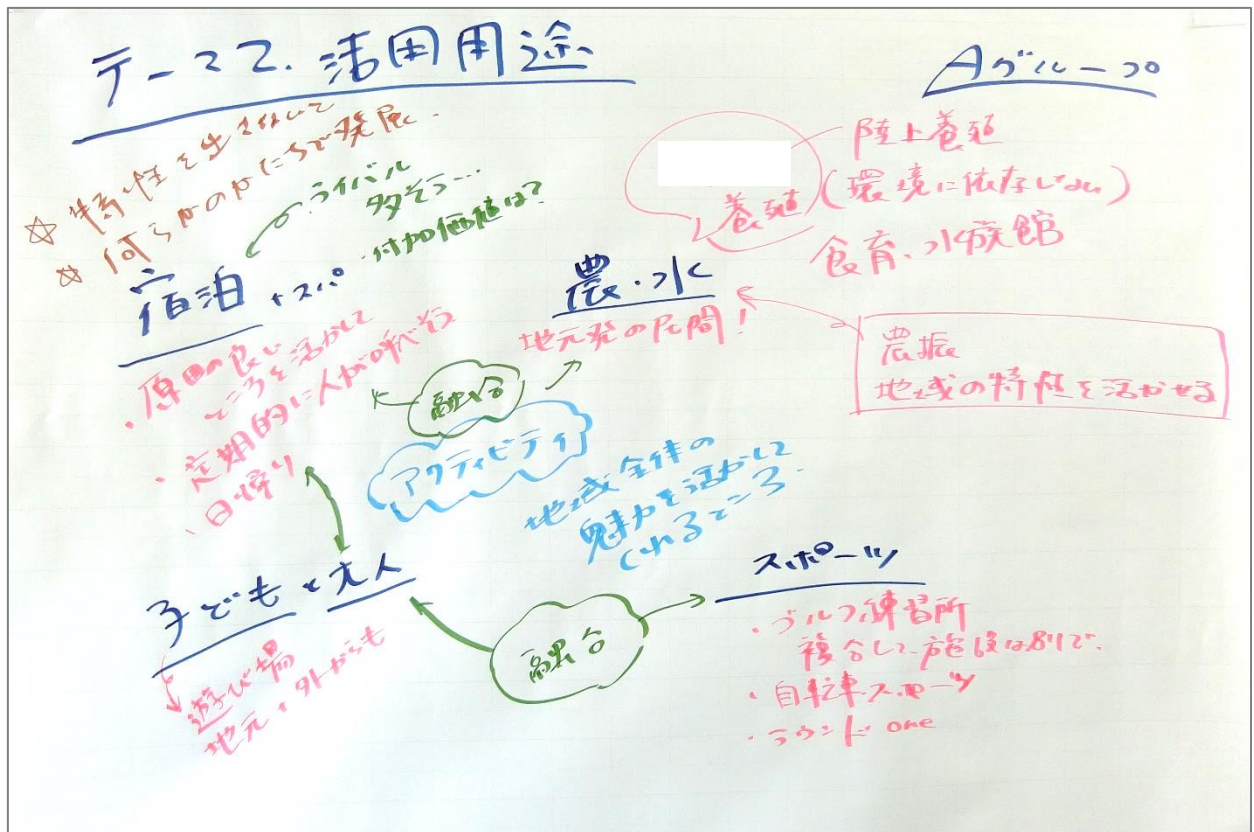
- ・2グループ共通で、「子ども向け施設」、「スポーツ施設」、「一次産業」で活用するという意見がでており、その他は宿泊施設、文化施設、趣味活動の場として利用するという意見がでていた。

★子ども向け施設（子どもの遊び場等）	・宿泊（+スパ）
★スポーツ（クラブチームの練習場所、トレッキング グマウンテンバイクの拠点、ゴルフ練習場）	・文化利用
★一次産業（農業振興・陸上養殖）	・趣味活動（料理）
（★は2グループ共通）	

▼Aグループ模造紙（テーマ1）



▼Aグループ模造紙 (テーマ2)



▼Bグループ模造紙

